

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋を分ける、パーテーションで仕切る等の環境設定を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		児童指導員加配加算は満たしているが、曜日によって、児童対職員で職員が不足するときがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	該当児はいないが、玄関上り口、1階和室への段差がある。1階トイレはバリアフリー。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議時や朝昼礼時等に、改善に向けた話し合いを行う時がある。また業務に偏りがないうように配慮している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年一回アンケートを実施している。保護者からの要望や意見に対し、改善点は改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPIにて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は実施していない。今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月一回の内部研修。また外部研修も希望者が行っている。その情報も回覧にて職員に共有している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約時、その後は更新時期にアセスメントを行い、放課後等デイサービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		自社のアセスメントシートを利用。S-M社会生活能力検査を行う場合がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			各担当でアイデアを出し、その後全体で話し合い、内容を共有するようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			療育スケジュールは固定化して、児童により内容を調整している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その日の流れに合わせて、必要かつ可能な療育と評価を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども達の体力、能力、変化に合わせて計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼、昼礼で、その日の流れや送迎、活動の担当について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼、翌朝の朝礼で振り返りを行い、児童の様子や活動の結果等の情報を共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			各児童の様子を、経過記録として毎日記録している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング期にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			勉強会時に確認している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席。事前にケース会議を行い、情報の共有に努めている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		家庭や学校のプリント、LINE、メール等を通じ、行事や下校時刻の確認を行い、必要に応じ学校への連絡を行っているが、共有事項については、適宜行っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	該当児なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		場合により、書面または、相談支援専門員を通じて引き継ぎや、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	該当児なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		具体的な交流はないが、外出時に定例発達の児童と交わる機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域連携会議に出席している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳、電話、メール、LINE等を利用し、様子を報告し、情報共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		2022年1月よりペアトレを実施していく。その前段階で10月11月と相談会を実施した。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、重要事項説明書を用い説明している。必要に応じ、書面を配布し、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談員と連絡をとり、必要に応じて助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			相談会や、保護者参加行事を行っている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の他、意見も受け付けている。迅速さは、さらに努力していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		保護者向け便りを発行。またブログでも、事業所内の様子を文章や写真で発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか		○	事業所は民間警備会社の警備付き。個人ファイルは鍵付きロッカーに保管。手紙の入れ間違いが発生した為、新たな仕組みを構築し実践している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚支援ツールを利用して、子ども達向けのスケジュールなどを提示している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域のアスレチックイベントに参加している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを作成し、各家庭にも緊急時の連絡対応などについての書面を配布している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		長期休み時等に避難訓練を行っている。(火災、地震、不審者)
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		該当児はいないが、契約時の重要事項説明書に記載。必要に応じ、計画書に記載のうえ保護者に了承を得るなどの対応をする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時、書面にて確認を行い、クッキング等、事業所内で食べ物を提供する際は、事前に確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝昼礼時や業務日誌にも記載している。